調達企業14に絞る

ボッシュ 事業部から独立、新組織

独ロバート・ボッシュの日本法人は2011年に購買改革に着手する。各事業部に属している購買部門を独立、統合する。同日本法人は現在、生産に直接関係する資材で約700社と直接取引しているが、新設する購買組織が重複を洗い出し数年かけて150－200社程度に絞り込む方針だ。集中購買によるコスト低減を見込む一方、優秀なサプライヤーを世界のボッシュグループの購買リストに推挙。選ばれたサプライヤーは海外事業拡大に弾みがつく見通しだ。国内自動車生産の縮小や新興国シフト、環境技術の普及などに伴い、サプライヤー各社の経営は変革期を迎えている。

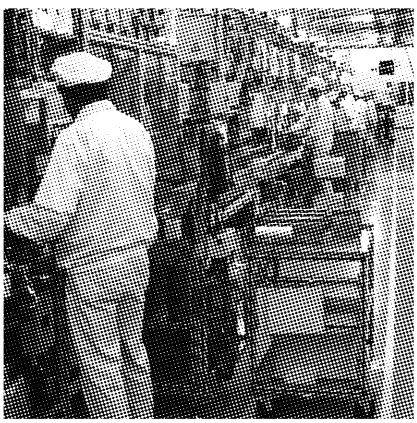
優秀取引先は〝世界〟に推挙

独ボッシュは1次取引先の中で特に技術力や品質が優れ、2次、3次取引先を育てる力のあるサプライヤーを「プリファードサプライヤー」として世界で約100社を認定している。日本の同サプライヤーは10社未満にとどまっており、今後その数を増やす意向。同サプライヤーを核に1次取引先を絞り込む。同サプライヤーに選ばれた企業は成長が見込める新興国を含む世界各国で、ボッシュグループとの取引拡大が期待できる。

ボッシュ日本法人の部品購入先は生産に直接かかわる資材で約700社、副資材を含めると約1000社にのぼる。ボッシュ日本法人は買収や合併などで事業規模を拡大してきた経緯があり、ディーゼルシステムやシャシーシステムなどの各部門に購買窓口を置いている。自動車メーカーからの低価格要請、ハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）の普及に伴う技術革新、新興国シフトなどで購買改革の必要に迫られていた。

独ボッシュは世界最大の自動車部品メーカーで、日米欧だけでなく中国やインドなど新興国でも事業を展開している。

日系自動車部品メーカーではKYBが12年までに自動車、産業用機械部品の調達先を3分の1以下に絞り込む方針を打ち出しており、同様の動きが広がりそうだ。



ディーゼルエンジン用燃料噴射装置のコモンレールなどを生産するボッシュの東松山工場（埼玉県東松山市）

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社